第２回　黒部市立清明中学校　学校運営協議会記録

１　日　時　令和８年 10 月 15 日(木)　11:00～12:00
２　場　所　清明中学校礼法室
３　出席者　学校運営協議会委員９名、市教委 CS 専門員１名、学校事務局１名
４　内　容
(1) 市学校運営協議会規則の確認
(2) 協議
①アクションプランの取組状況と今後の対応について　　校長　城寺委員より説明
・心配ごとや悩みをＳＮＳ上の知人やＡＩに相談する生徒の割合が１８％となっている。生成ＡＩの不確実性について、生徒に具体的に示す必要があるのではないか。
→生成ＡＩの使用については、文部科学省の指針に従って実施していくとともに、教員が生成ＡＩの適切な利活用についてさらに学んでいかなければならない。
②これまでの具体的な活動、今後の予定について　　校長　城寺委員より説明
・小学校での調理実習やミシン実習補助等の学習支援については、公民館に依頼がある。中学校ではどのようにして依頼しているのか。
→ミシン実習補助や保育所訪問補助については、ＣＳ委員の方々に依頼している。調理実習については、地域の食生活改善推進員協議会にお願いしている。
・公民館で地域人材を募集するのは負担がある。地域学校協働本部を通して希望を募る方向にしていけないか。
→地域学校協働本部の設置については、市教育委員会でも検討している。
・「社会に学ぶ『１４歳の挑戦』」の事前、事後講演会の講師はどのように選定しているのか。
→２学年主任が中心となり、講師の選定、依頼を行っている。今年の２年生は市役所の職員出前講座も実施した。
・「社会に学ぶ『１４歳の挑戦』」において、生徒の取組に課題が見られる事業所があったと聞いている。
→子供は皆同一ではなく、それぞれの個性や特性がある。その点について事業所側にも理解していただき、マナー違反や危険行為等があった際には、指導・支援をお願いしたいと考えている。
・「さわやか運動」について、回数を削減している地域もあると聞いている。
→学校としては続けていきたい。生徒が家族以外の地域の方々とあいさつを交わすことに意義がある。
③今後の地域との連携・協力について　　校長　城寺委員より説明
・部活動の地域展開について、文化部の指導者はどうなるのか。
→文化部については、指導者が見つからない。また、活動場所の確保、道具の運搬にも課題が残っている。
(3) その他
・今年度見直しをした校時運行表と複数担任制については、成果と課題を明確にし、さらによいものとなるよう取り組んでいる。
５　その他
・次回の学校運営協議会の確認　等